

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マイスターエンジニアリング  
 コード番号 4695 URL <http://www.mystar.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(氏名) 菊地 幸雄  
 (氏名) 田谷 徳人

TEL 043-296-1171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	12,025	—	394	—	440	—	168	—
20年3月期第3四半期	11,225	7.4	441	14.2	479	13.9	244	16.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	18.46	—
20年3月期第3四半期	26.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	8,771	6,451	72.5	697.58
20年3月期	9,345	6,500	68.6	703.31

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,361百万円 20年3月期 6,413百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	0.3	450	△37.9	500	△35.4	200	△38.6	21.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

※詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

※詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	9,125,000株	20年3月期	9,125,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	6,199株	20年3月期	6,199株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	9,118,801株	20年3月期第3四半期	9,118,801株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成21年3月期の通期業績予想につきましては、平成20年5月8日に公表いたしました「平成20年3月期決算短信」の「3. 平成21年3月期の連結業績予想」の通期業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「平成21年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機が実体経済へと波及し、企業業績や雇用環境の悪化、輸出の低迷、設備投資の抑制など経済のあらゆる面で景気後退が深刻化する状況となり、当社グループを取り巻くビジネス環境は大きく変化し、不透明感が増大してまいりました。

メカトロ関連事業におきましては、主要顧客である半導体業界の業績低迷が顕著となり、さらに業界全体の設備投資の抑制などによる業績悪化の影響も出てまいりました。このような状況の中、新規顧客の開拓やフィールドのみならず設計開発業務にも注力してまいりましたが、売上高は4,737百万円（前年同期比1.7%減）となり前年同期を下回りました。ファシリティ関連事業におきましては、主要顧客である賃貸オフィスビル業界が、外資の引き上げや金融機関の貸し渋りなどによる不動産業界の不振のあおりを受け、厳しい状況が継続しておりますが、ホテル等の運営管理の受託が堅調に推移し、売上高は5,531百万円（前年同期比11.8%増）となりました。コンテンツサービス関連事業におきましては、主力のホール部門、イベント部門の運営管理の受託が堅調に推移し、売上高は1,755百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,025百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は394百万円（前年同期比10.6%減）、経常利益は440百万円（前年同期比8.2%減）、四半期純利益は168百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

なお、前年同期比増減率は参考資料として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は8,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円減少いたしました。流動資産は4,959百万円となり、326百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の373百万円の減少及び受取手形及び売掛金の73百万円の減少等であります。固定資産は3,811百万円となり、247百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の194百万円の減少等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ524百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金の324百万円の減少、賞与引当金の196百万円の減少及び未払法人税等の170百万円の減少等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払い136百万円、四半期純利益168百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の83百万円の減少等であります。

#### (2) キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ573百万円減少し、2,308百万円となりました。

営業活動の結果、使用した資金は167百万円となり、これは主に税金等調整前四半期純利益376百万円、賞与引当金の減少額196百万円、売上債権の減少額73百万円、仕入債務の減少額324百万円及び法人税等の支払額429百万円等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は261百万円となり、これは主に定期預金の預入による支出210百万円及び有形固定資産の取得による支出67百万円等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は144百万円となり、これは主に配当金の支払額136百万円等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、平成20年5月8日に公表いたしました「平成20年3月期決算短信」の「3. 平成21年3月期の連結業績予想」の通期業績予想を修正しております。修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日別途公表しております「平成21年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、主として最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法）により算定しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,573,219	2,946,670
受取手形及び売掛金	1,918,372	1,992,260
原材料	7,148	4,479
仕掛品	40,551	22,018
未成工事支出金	39,864	49,847
貯蔵品	24,946	27,979
その他	371,866	247,639
貸倒引当金	△16,179	△4,460
流動資産合計	4,959,790	5,286,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,114,305	1,125,435
土地	1,087,070	1,087,070
その他(純額)	64,039	73,155
有形固定資産合計	2,265,415	2,285,661
無形固定資産		
のれん	167,514	238,277
その他	43,246	59,538
無形固定資産合計	210,760	297,816
投資その他の資産		
投資有価証券	411,675	605,968
差入保証金	466,077	469,844
その他	485,538	423,914
貸倒引当金	△27,744	△24,475
投資その他の資産合計	1,335,547	1,475,252
固定資産合計	3,811,723	4,058,730
資産合計	8,771,513	9,345,165

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	455,353	780,102
短期借入金	42,000	50,000
未払法人税等	64,839	235,060
賞与引当金	195,172	391,230
その他	762,515	643,747
流動負債合計	1,519,880	2,100,140
固定負債		
退職給付引当金	602,864	580,398
役員退職慰労引当金	45,663	45,633
長期預り保証金	151,317	118,366
固定負債合計	799,845	744,398
負債合計	2,319,725	2,844,538
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	981,662	981,662
資本剰余金	956,962	956,962
利益剰余金	4,397,613	4,366,058
自己株式	△3,099	△3,099
株主資本合計	6,333,138	6,301,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,957	111,772
評価・換算差額等合計	27,957	111,772
少数株主持分	90,692	87,271
純資産合計	6,451,787	6,500,627
負債純資産合計	8,771,513	9,345,165

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	12,025,204
売上原価	9,836,886
売上総利益	2,188,318
販売費及び一般管理費	1,794,057
営業利益	394,260
営業外収益	
受取利息	2,300
受取配当金	4,097
受取補償金	5,999
助成金収入	16,202
匿名組合投資利益	14,224
その他	16,375
営業外収益合計	59,200
営業外費用	
支払利息	3,286
支払補償費	5,736
匿名組合投資損失	1,788
その他	2,631
営業外費用合計	13,441
経常利益	440,019
特別損失	
固定資産売却損	14,715
投資有価証券評価損	48,511
特別損失合計	63,227
税金等調整前四半期純利益	376,792
法人税等	205,034
少数株主利益	3,421
四半期純利益	168,336

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	376,792
のれん償却額	70,763
減価償却費	84,438
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△196,057
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,466
その他の引当金の増減額 (△は減少)	15,018
受取利息及び受取配当金	△6,397
支払利息	3,286
投資有価証券評価損	48,511
売上債権の増減額 (△は増加)	73,887
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,185
仕入債務の増減額 (△は減少)	△324,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,608
預り保証金の増減額 (△は減少)	32,950
その他の資産の増減額 (△は増加)	△71,023
その他の負債の増減額 (△は減少)	156,784
その他	21,099
小計	258,977
利息及び配当金の受取額	6,402
利息の支払額	△3,286
法人税等の支払額	△429,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△210,100
定期預金の払戻による収入	10,000
有形固定資産の取得による支出	△67,019
差入保証金の差入による支出	△9,627
その他	15,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,000
配当金の支払額	△136,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	167
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△573,550
現金及び現金同等物の期首残高	2,882,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,308,735

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリテ イ関連事業	コンテンツ サービス 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,737,934	5,531,461	1,755,808	12,025,204	—	12,025,204
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	447	14,266	14,713	(14,713)	—
計	4,737,934	5,531,908	1,770,074	12,039,918	(14,713)	12,025,204
営業利益	361,769	127,388	130,521	619,680	(225,419)	394,260

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、市場の類似性により区分しております。

2. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益に与える影響額は軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)においては、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	11,225,440
II 売上原価	9,148,537
売上総利益	2,076,903
III 販売費及び一般管理費	1,635,764
営業利益	441,138
IV 営業外収益	48,306
V 営業外費用	10,235
経常利益	479,208
VI 特別利益	14,816
VII 特別損失	14,928
税金等調整前四半期純利益	479,096
法人税、住民税及び事業税	233,640
法人税等調整額	—
少数株主利益	1,422
四半期純利益	244,033

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	479,096
のれん償却額	57,828
減価償却費	76,112
賞与引当金の増加額又は減少額	△187,121
退職給付引当金の増加額又は減少額	19,833
その他の引当金の増加額又は減少額	△11,967
受取利息及び受取配当金	△7,855
支払利息	3,390
売上債権の増加額又は減少額	284,315
たな卸資産の増加額又は減少額	△11,883
仕入債務の増加額又は減少額	△182,123
未払消費税等の増加額又は減少額	△33,008
その他の資産の増加額又は減少額	△22,203
その他の負債の増加額又は減少額	△41,440
その他	3,850
小計	426,822
利息及び配当金の受取額	7,858
利息の支払額	△3,390
法人税等の支払額	△333,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,528
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△110,086
定期預金の払戻による収入	14,612
有形固定資産の取得による支出	△68,639
差入保証金の支払いによる支出	△11,604
新規連結子会社株式の取得による支出	△127,268
その他	37,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,106
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額	△128,500
配当金の支払額	△136,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265,282

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△432,863
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,374,882
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,942,018

## (3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) (単位:千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリティ 関連事業	コンテンツ サービス 事業	連結
売上高	4,819,471	4,945,657	1,460,311	11,225,440